

設備工事情報シート		衛 生	I-P-5-改 ₃	制定 改訂	2004年4月1日 2019年3月1日
施工要領		架橋ポリエチレン管(先分岐工法)			前澤給装工業編
1. 目的・概要					
<p>住宅の給水および給湯配管に使用される樹脂管（架橋ポリエチレン管およびポリブデン管）の施工方法には、さや管ヘッダー工法および先分岐工法がある。その施工要領および使用部材はメーカーごとに異なり、メカニカル式、ワンタッチ式等があるため、施工前に採用メーカーの接続方法を確認する必要がある。以下に、前澤給装工業（株）／架橋ポリエチレン管／先分岐工法の施工要領および施工のポイントを示す。</p>			4. QSJC継手の主な構成部材・名称		
<p>差し込み確認穴</p>					
2. KP継手の主な構成部材・名称			5. QSJC継手の施工要領及びポイント		
			<p>(1) 継手を袋から取り出し、防塵シールを剥がす。 ※防塵シールは、異物の侵入・混入を防止するためにパイプを接続する直前まで、剥がさないこと。</p>		
			<p>(2) パイプを継手本体の突き当たるところ（根本）まで確実に挿入する。パイプ挿入状態の確認は、透明カバーを目視で覗いて確認する。 ※パイプの面取り不要。 ※パイプの巻きぐせを正して挿入すること。 ※再施工は不可。 ※土中及びコンクリート内に埋設不可。</p>		
			<p>(3) パイプを手で引っ張り、抜けないことを確認する。 継手本体の根元までパイプが挿入されていることを再確認する。</p>		
			<p>⚠ 樹脂製のため、有機溶剤や泡状ウレタン・薬剤などの接触に注意が必要。</p>		
<p>⚠ 割リングの再使用はしないこと。</p>			6. パイプの切断についての諸注意		
			<p>パイプは専用パイプカッターを用いて、管軸に直角に切断する。斜め切断や専用パイプカッター以外による切断はしないこと。</p>		

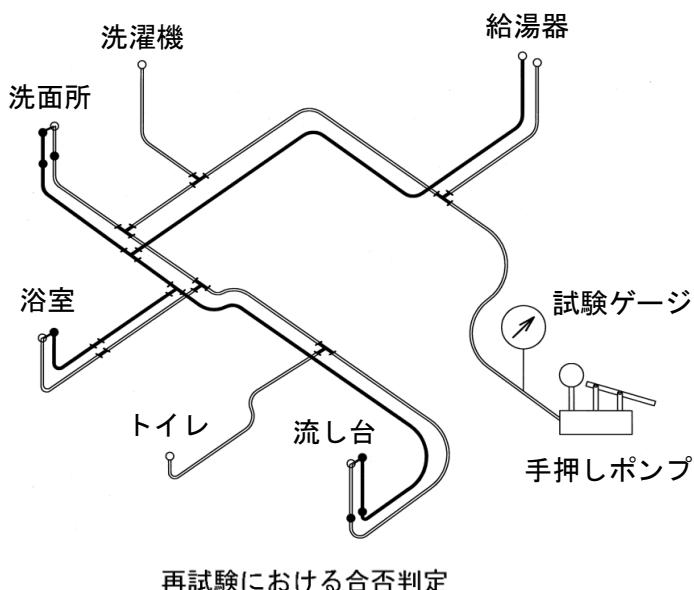
資料

1. 主な製品



日本工業規格 (J I S) 表示認証品 JW0208005 JW0208002

2. 水圧試験



初圧 [MPa]	60分後の圧力 [MPa]	判定
0.75	0.55以上	合格
0.75	0.55未満	不合格

合否判定		
初圧 [MPa]	60分後の圧力 [MPa]	判定
0.75	0.45以上	合格

種類	使用温度 [°C]	0~20	21~40	41~60	61~70	71~80	81~90	91~95
*PN15	最高使用圧力 MPa [kgf/cm ²]	1.5 (15.3)	1.25 (12.7)	0.95 (9.7)	0.85 (8.7)	0.75 (7.7)	0.70 (7.2)	0.65 (5.5)

*PN15 : 水温20 °Cにおいて最高圧力1.5 MPaの耐久性を持つ架橋ポリエチレン管

◆前澤給装工業(株)はポリブテン管も取り扱っている。

◆前澤給装工業(株) 連絡先

集合営業課 (03)3760-8517
(東京地区) 担当: 山口 勢太

名古屋支店 (052)745-8211
担当: 吉田 敏也

北海道支店 (011)814-1515
担当: 麻生 悅郎

大阪集合営業課 (06)4808-4411
担当: 富谷 善樹

仙台支店 (022)263-2331
担当: 木下 博昌

九州支店 (092)472-7341
担当: 松本 直人

注: この情報シートは日建連の基準、規格ではありません